



ごうちゃんねる (GO-CHANNEL)

2022/09/01

イルミナティ陰謀論を覆す！
ネフィリムとは何者なのか？

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏



お元気ですか。高原剛一郎です。このチャンネルはコメント欄を開放していきまして、皆さんから頂くコメントにずいぶん勇気づけられています。

「ごうちゃんねるを通して、キリストのことが分って来た。」「聖書のことが分かって洗礼を受けて今教会に通ってます。」「長い間 無神論を貫いていた主人がキリストを信じました。今一緒に教会に行ってます。」「ごうちゃんねるを聞く会を作りました。」

そういうのを見て、どなたかのお役に立っていることが分ると、すごく励ましになります。これからも活用していただきますように、どうぞお願いします。

同時に、「どうして私のコメントを勝手に削除したんですか」というのもあるんですよ。コメント欄に“並べ替え”というのが書いてあるでしょ。それをクリックすると“評価順”と“新しい順”が出て来ます。新しい順にすると、投稿されたコメントを全部見ることができます。私のほうで消すことはありません。全く無いかというと、過去2年間で5~6回削除しました。それは脅迫コメントです。やはりこれはご遠慮頂きたいと考えていて、このチャンネルを気持ちよく運営して行きたいと願っていますので、どうかご協力をお願いします。

そして、「いつまで待ったら質問に答えてくれるんですか」というのもあるんですよ。これについては順次取り上げて行きますので、どうぞ今までののは勘弁してください。

今日取り上げるのは「ぜひこのことを答えてほしい」と、3件4件ではなく非常に多くの方々から質問を受けていたにも拘わらず、「今すぐじゃなくてもいいかな」と勝手に判断して、先延ばしにして来た質問です。それは「ネフィリムって何ですか。」これは聖書に出て来る言葉ですが、関心を持っている方は少ないと思って「今すぐじゃなくてもいいかな」と思っていたのです。

つい先日 ある所で行った聖書講演会に、会社経営の男性が来られて同じ質問をされました。彼はごうちゃんねるを見るまでは、宇宙人が人間を造ったと思っていたそうです。

「ところが、この番組を通して聖書に触れ、今は神が人間を造ってくださったと9割くらい、ほぼほぼ分かって信じているけど、どうもまだ引っかかっている。これはネフィリム問題を解決しない限り、すっきり はっきり くっきりしない。ネフィリム問題について、高原さんの見解を聞きたい。」

この方の話を聞いて、色んなことを教えられました。

彼が言うには、「この世界はディープステートによって動かされている。

ディープステートの出先機関はフリーメイソン。だけど、フリーメイソンは末端機関のようなもので、フリーメイソンを本当に支配しているのは秘密結社イルミナティ。

イルミナティの本当の奥の院・最重要の核は、イルミナティ 13 血族という人たちが支配していて、この13の家系はほぼほぼ、ヨーロッパのロイヤルファミリーとかぶっている。

13 血族のルーツを辿ると、彼らは宇宙人と人間の女性の間に生まれたネフィリムの子孫たちである。

ネフィリムは巨人で超高度文明を持ち、宇宙人と人間の女性の中に生まれた。
現在イルミナティの中心を担っており、この血筋が汚(けが)されないように、薄まらないようにするために、同族同士の結婚を繰り返して今日に至っている。

ネフィリムが持っている文明は超古代文明。例えば、エジプトのピラミッドは現在の建築技術でもそう簡単に造ることはできない。なぜあんなにスゴイ物ができたのか。我々の先祖が造ったのではなく、ネフィリム/宇宙人の子孫たちが造ったと考えれば、古代文明の謎も辻褄が合う。特に決定的なのは、ネフィリムについては聖書が紹介しているということ。聖書にネフィリムが登場する。だから高原さん、ネフィリムって何ですか。」

私は即答しました。ネフィリムは今いません。ネフィリムなんか一人も生き残ってません。かつてはいたんですよ。聖書に登場しますから。でも、現在はいないんです。なぜそう断言できるのか。聖書がそう断言しているからです。

そこで今日は、ネフィリム・陰謀論から解放されるために役に立つ知識になるかもしれないと思ったので紹介します。

ネフィリムが最初に登場するのは**創世記 6 章**。

- 1 さて、人が大地の面に増え始め、娘たちが彼らに生まれたとき、
- 2 神の子らは、人の娘たちが美しいのを見て、それぞれ自分が選んだ者を妻とした。
- 4 神の子らが人の娘たちのところに入り、彼らに子ができたそのころ、またその後も、ネフィリムが地にいた。彼らは昔からの勇士であり、名のある者たちであった。

神の子ら。これは誰なのか。宇宙人と呼んでいいのか。駄目なんです。

神の子らはヘブライ語でベネイ・ハ・エロヒーム。

ベネイ▶子供たち/子ら。子供の複数形。ハ▶定冠詞。英語の the。エロヒーム▶神。

ベネイ・ハ・エロヒーム▶神の子供たち/神の子ら。

この言葉はここだけでなく、旧約聖書に頻繁に出て来て、しかも、神の子らという言葉が旧約聖書に登場する時は例外なくみな、御使い/天使たちを指しているんですね。

良い御使いにも、悪い御使い/墮天使(神に背いて墮落した天使)たちにも、神の子らを使うことがあります。いずれにしても、神の子らは御使い/天使たちを言うのです。

なぜここで、子ら/子供たちという言葉を使っているのか。神が直接創造したものだからです。

日本語でも職人が丹精込めて作った作品を“わが子のようにかわいがる”というのがありますよね。それと同じように、神が直接創造した被造物・神の創造の結果生まれた存在という意味で、御使い/天使たちが神の子らと呼ばれているのです。

- 4 神の子らが人の娘たちのところに入り、彼らに子ができたそのころ、またその後も、ネフィリムが地にいた。彼らは昔からの勇士であり、名のある者たちであった。

さあ出て来ました。ネフィリムですよ。ネフィリムは、墮天使(墮落した天使)たちが人間の女性と交わって出て来た子孫だと書いてあります。

ネフィリムという言葉の由来を説明します。ヘブライ語のほとんどの単語は、3つの子音が組み合わさって意味ができて単語になるんですね。3つの子音字を語根と言います。ネフィリムは名詞の複数形です。シャマイームなど、最後にイームが付くと複数形が多いんです。

ネフィリムはナファル（落ちる・襲いかかる・戦死する）という動詞が名詞化したものです。すなわち、ネフィリムは落ちて来たもの。どちらかというとな否定的なニュアンスで、あまり肯定的ではない。墮天使たちと人間の女性が関係して出て来たということで、言外に否定的なイメージを持っている。これが本来の意味なんですね。

昔からの勇士であり、名のある者たちであった。

人間離れした強さで、皆から恐れられる存在だ、ということがほのめかされています。この超人的な存在の子孫が21世紀になった今日に至るまで生き残って、世界のどこかにいて、イルミナティを支配している…いません。一人も生き残っていません！
というのは、この6章の後に大事件が起こるんです。ノアの大洪水ですよ。これによって、ネフィリムは全滅したのです。

創世記7章

21 こうして、地の上を動き回るすべての肉なるものは、鳥も家畜も獣も地に群がるすべてのものも、またすべての人も死に絶えた。

22 いのちの息を吹き込まれたもので、乾いた地の上にいたものは、みな死んだ。

大洪水によって死に絶えた。いのちの息を吹き込まれたもので、乾いた地の上にいたものは、みな死んだ。みなと言ったら例外なくみななんですよ。

23 こうして、主は地の上の生けるものすべてを、人をはじめ、動物、這うもの、空の鳥に至るまで消し去られた。それらは地から消し去られ、ただノアと、彼とともに箱舟にいたものたちだけが残った。

ここで強調されているメッセージは1つです。

“全滅しました。例外は、箱舟に入ったものたちだけです。”

人類で箱舟に入ったのはノアと3人の息子、それぞれの奥さん。4×2で8人だけです。ノアの息子セム、ハム、ヤフェテの3つの系統から全人類が増え広がって行った、と創世記は解説しています。

それ以外の人たちは消し去られた。主は地の上の生けるものすべてを地から消し去られた。

例外はありません。ネフィリムもその中に含まれるのです。

なので、聖書の言葉を額面通り受け止めるなら、ネフィリムは全滅したので今一人もいません！
いると言うなら、それは聖書を曲解した解釈で異端的です。警戒しなければなりません。

そうは言っても…という意見、その意見も私は「なるほどな」と思うんですよ。

というのは、この後、ネフィリムの子孫が出て来るんですね。

ノアの大洪水から1000年以上後の、今から約3500年前のこと、民数記13章です。

背景を説明すると、エジプトで長い間奴隷だったユダヤ人たちは解放され、モーセに率いられて約束の地に侵入しようとするのですが、その前に、これから入るカナンの地がどんな状態なのか偵察するために 12 人のスパイを送ります。

この先住民はとても良い“がたい”だったんですね。アンドレ・ザ・ジャイアントとか相撲力士、ヘビー級総合格闘家みたいなごっついのがウロウロしているのを見て、恐怖心でいっぱいになり、こんなところに入って戦争やったら絶対負けるで。入りたくない。しっぽ巻いて逃げ出したい。それで、この突入をなんとか阻止したいと思い、12 人のうち 10 人が非常に悲観的な報告をしました。

その報告の内容が**民数記 13 章 33 節**

私たちは、そこでネフィリムを、ネフィリムの末裔アナク人を見た。

私たちの目には自分たちがバッタのように見え、彼らの目にもそう見えただろう。

ネフィリムを、ネフィリムの末裔アナク人を見たと書いてある。ということは、ネフィリムの末裔はやっぱり生き残っていた！ パッと読むと、そう勘違いしてしまうんですね。

これは、ネフィリムの末裔がいたのではなく、ネフィリムの末裔がいたように感じたんです。

彼らの恐怖心が反映された感想を述べているんですね。

アナク人という巨人を見た。「これはネフィリムの末裔に違いない！」と勝手に解釈して、「ネフィリム相手に勝てねえよ」と悲観的なことを言っているのです。

何かものすごいものを“ものすごい”と伝わるように表現するには、皆が既に“ものすごい”と認めているものと関連付ける。

今も行われているんじゃないでしょうか。例えば、「この育毛剤は絶対に効く。東大の〇〇博士が 15 年掛けて作ったからだ。」東大のブランドと関連付けて、いかにも効きそうなことを伝えているわけです。

「このスキンケアを塗ったら、赤ちゃん肌のようにすべすべになります。女優の〇〇さんはこれを 20 年も使っていて、あんなにお美しいのですから。」「この羊羹はめっちゃおいしいです。なにしろ宮内庁御用達ですから。(陛下も召し上がられるほどのものです。)」

何かすごく権威あるものと紐づけすることによって、自分が伝えたいものがいかに凄いかということをお伝えしようとするわけですね。それをやっています。

これから突入しようとしているカナンの先住民アナク人は巨人だ。デカイ。かないっこない。

どれくらいデカくて、どれくらいものすごいのかを一発で伝える方法：「アナク人はネフィリムの末裔やったんや！」「おおお… (*引く)」となる。そういうことなんですね。

ネフィリムは全滅した。いのちの息を吹き込まれたもので、乾いた地の上にいたものは、みな死んだ。消去された。そう書いてあるのですから、これは彼らの感想だと解釈しなければならないのです。ネフィリムが今日に至るまで生き残っているというのは、聖書を表面的に解釈した結果のものと言えるんですね。

ついでに言うと、エジプトのピラミッドもネフィリムや宇宙人が造ったのではないです。

古代人が造ったんですよ。「いや、現代の建築学では…！」

それはそうなんですけど、昔の建築学を侮っているからそんな結論になるのです。

あれは人間が造ったのです。私もエジプトに何度も行って、ピラミッドをいつも見学させてもらってます。ギザ大地で3つのピラミッドを見ました。そのうちの1つに入りましたよ。

実はピラミッドの周辺に、当時こき使われた労働者たちが殴り書きした落書きが残っています。この奴隷としてこき使われた人たちの中に、かなりのインテリ・読み書きができる人たちがいたんですね。彼らが上司に向かって言った不満、「ビールが全然足りないやないか！」「こんな貧しい食事でやられるか！」

東京の新橋か大阪の京橋の立ち飲みスタンドで、ブラック企業でこき使われている中年サラリーマンが上司にブーたれているようなことが書いてある。

宇宙人はそんなことしなくても、宇宙力で、なんかSF的なことでやったんじゃないですか。そうじゃない。肉体労働に悲鳴を上げている人たちの不満がぶちまけられている落書きが、たくさん発見されているんです。「我々と変わらない庶民がこき使われて建てたんだな。文句をいっぱい書いたんだな」ということが分かるんですね。

結論です。要するに、[ネフィリムの末裔](#)は今いません。

そして、聖書を解釈する時は表面的だけではなく、言文を額面通りに捉えることが非常に大事です。聖書を正しく理解することが様々な陰謀論から逃れることになり、また、様々なカルト宗教から解放されることにもなるのです。

多くのカルト宗教（統一教会・エホバの証人・モルモン教など）は、聖書に書いてないことを勝手に読み込むんです。そして他の経典を持って来て、自分たちの理論（聖書に書いてないこと）を、聖書を使って丸く収めようとするんです。

聖書の記事は聖書だけで説明できなければなりません。

よそのものを持って来たら、いくらでも換骨奪胎（かんこつだつたい）することになるからです。

私も聖書解釈はできるだけ正確に、額面通りお伝えできるように研鑽を積んで行きたいと思います。もし「それ違うんじゃないの」ということがあれば教えてください。私は本当のことが分かりたいと思っています。なので、色んな情報をお持ちの方や詳しい方がおられたら、これからも教えてくださいますようにお願いします。

チャンネル登録もお願いします。ではまた とうちゃんねるでお会いしましょう。

それまで皆さん、お元気でいてください。さよなら！

☆使用した聖書は「聖書 新改訳 2017」です。